

【説明資料(提出ファイル)】 発明・工夫作品コンテスト 製作の動機または目的, 利用方法, 作品自体やその製作過程で工夫したことを, 文章, 写真, 図などで説明。この用紙1枚に記入し, PDFに変換した後, web提出フォームにて提出する。

個人・グループ名	清水研究室 光遊び実践研究チーム 津田皆利、関美咲、田代みなみ、中山彩希、 瀧川楓花、石出光汰朗、江口マホ、古賀柊一、 柴田雛、杉尾風華、生彩花	大学名	九州産業大学 人間科学部子ども教育学科
作品名	—子どもの心を育む「癒しのアトリエ 光遊びの部屋」の開発—	人数	11名

### 1. 制作の動機と目的

光遊びの実践は、世界的に注目を集めた北イタリアのレッジョ・エミリア市の幼児教育実践に触発され、大学近郊の保育園の協力を得て取り組んだものである。保育園の子ども達は、光遊びの実践をとっても喜んでくれた。しかし、保育園には、光遊びに適した環境(暗室となるアトリエ)がないため、クラスの子供達みんなが十分な時間遊べなかったことが課題となった。そこで、保育現場に光遊びができるアトリエが普及し、日本の子どもがレッジョ・エミリアのような芸術×科学教育の実践ができる環境づくりを目指して、アトリエ制作にチャレンジした。

### 2. 製作過程の概要

「癒しのアトリエ 光遊びの部屋」作りから「お城と雪の小人たち」の作品作りは下記3つのURLから選択してご覧ください。

<https://youtu.be/KefN7LLruPs>

[microsoft-edge:https://youtu.be/KefN7LLruPs](https://youtu.be/KefN7LLruPs)

<https://21.gigafile.nu/0313-ga3346ec9bac5d9ca287010d5d0127724>

### 3. 今回の改善点と工夫点

環境構成	光遊びをするための暗室をパイプで枠組みを作り、暗幕をネジクランプでとめて作成。子どもが積み木とLEDライトで構成遊びをする際には、「子守歌」(團伊玖磨)の曲を流すと、想像力が高まると考えた。写真1参照
教材開発	積み木だけでなく布、紙粘土など様々な素材に照射した。プッシュ型LEDライトだけでなく、水中LEDライトを使用して、水の揺らぎでオーロラの動きを表現した。写真2参照
指導方法	團伊玖磨の「子守歌」を基にした「雪の小人たち」の童話を創作した。そのお話のイメージを作品に表現する。



写真1 光遊びのための暗室づくりは、パイプとばねクランプとつけた暗幕で制作。

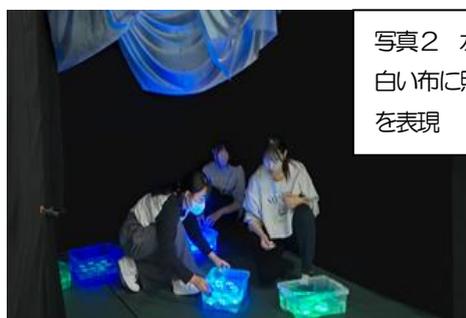


写真2 水中LEDライトを白い布に照射してオーロラを表現



写真3 「お城と雪の小人たち」

### 4. おわりに

光遊びのための暗室を「癒しのアトリエ」と名付けたのは、保育園で光遊びをした時に特別支援が必要な子どもが、みんなと一緒に落ち着いて遊べていた姿に驚いたからである。この実践を通して、光遊びの部屋には、スヌーズレン効果があり、子どもの情緒を安定させることが実証できた。「癒しのアトリエ: 光遊びの部屋」が、全国の幼児教育施設に広がり、光遊びのような芸術×科学領域の質の高い遊びを、すべての子どもが体験できることを願っている。